

令和4（2022）年度 大阪府人権総合講座

総合案内（前期）

1 目的

人権教育・啓発や人権相談に携わる方に必要な知識やスキル等を経験に応じて習得できる講座を、年間を通じて開催します。これにより、人権尊重の社会づくりを推進するために必要な人材を幅広く養成します。

2 概要

- 人権啓発や人権相談の現場で活躍する方を想定し、前期・後期あわせ8つの人材養成コースと幅広く人権問題が学べる人権問題科目群を設定しています。
- 受講される方のニーズや職務経験、スキル等を踏まえて、段階別を実施します。
- 今年度（前期）は、新型コロナウイルス感染症対策を徹底しつつ、対面・集合型で実施します。ただし、新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、実施方法をオンライン方式（Zoom使用）に切り替える場合があります。
- 対象者は、大阪府内に在住・在勤で、大阪府、市町村、NPO団体等、企業、地域等において人権教育・啓発や人権相談に携わる方です。
- 人材養成コースも含めて1科目から受講する「科目選択受講」が可能です。

コースの構成

	名称	科目数	定員	修了認定	
前期	人材養成コース	①人権担当者入門コース	7	40	-
		②人権ファシリテーター養成コース	12	20	あり
		③人権啓発企画担当者養成コース	11	20	あり
		④人権相談員養成コース	12	50	あり(※1)
	科目選択	人権問題科目群（前期）	28	60	(※1)
後期	人材養成コース	⑤人権ファシリテータースキルアップコース	6	20	-
		⑥人権コーディネータースキルアップコース	4	20	-
		⑦人権相談員スキルアップコース	12	30	あり(※2)
		⑧人権相談員専門コース	12	30	-
	科目選択	人権問題科目群（後期）	16	40	(※2)

(※1) 〈人権相談員養成コース〉の修了認定を受ける場合は、人権問題科目群（前期・28科目全て）の履修が必要です。

(※2) 〈人権相談員スキルアップコース〉の修了認定を受ける場合は、人権問題科目群（後期・16科目全て）の履修が必要です。詳細は後期案内でお知らせします。

3 内容

(1) 人材養成コース

各コースの詳細については、P.4～5のコース案内をご覧ください。

※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能です。

① 人権担当者入門コース

新たに人権担当になった方、新たに相談員になろうとする方を対象に、人権問題の基礎理解、人権行政の基礎等の基本的知識を学んでいただくコースです。

② 人権ファシリテーター養成コース

ファシリテーターに必要な基礎知識を身に付けたい方を対象に、職場、学校、地域等で人権学習・人権研修を参加体験型で実施できるよう、視点、行動、スキルの基礎を学んでいただくコースです。

③ 人権啓発企画担当者養成コース

人権教育・啓発の企画や事業実施を担当する方を対象に、人権問題解決のための事業を企画・立案・実施ができるよう、企画づくりの基礎を学んでいただくコースです。

④ 人権相談員養成コース

相談業務経験が概ね1年以下の相談員を対象に、大阪府における人権相談の現状を学ぶとともに相談援助技術の基礎を学んでいただくコースです。

※ 〈人権相談員養成コース〉の修了認定を受ける場合は、人権問題科目群（前期・28科目全て）の履修が必要です。

(2) 人権問題科目群

様々な人権問題を幅広く学ぶことができる科目です。1科目から自由に選択して受講が可能です。

4 実施期間 令和4（2022）年6月27日（月）～9月27日（火）

5 主催 大阪府（実施：一般財団法人大阪府人権協会）

6 会場 HRCビル（AIAIおおさか） 〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37

※フィールドワークの会場等は、受講決定者に別途お知らせします。



○最寄り駅：

JR/Osaka Metro「弁天町」駅より
北東へ約600m

○各駅的最寄り出口：

- ① JR大阪環状線「弁天町」駅北口より
※ エレベーターは同駅南口にのみ設置
- ② Osaka Metro「弁天町」駅4番出口より
※ エレベーター設置

●オンライン方式での実施に切り替えた場合の受講について

- ・ 新型コロナウイルス感染症の感染状況によって、実施方法をオンライン方式に切り替える場合があります。その場合、Zoomアプリケーションのミーティング機能を使用します。
- ・ オンライン方式への切り替えは、各科目実施日の1週間前までに判断し、当該科目受講予定者へ連絡します。その際、受講予定者には、別途「オンライン講座実施要領」を配布します。
- ・ パソコン、スマートフォン、タブレット等の端末での学習環境が必要になります。各自で学習できる場所、機材等を確保してください。
- ・ 「演習」「FW」形式の科目と、「講義」形式の科目のうち「対人援助の基本姿勢」「傾聴・コミュニケーション」はマイク・カメラ機能が必要です。これ以外の科目はマイク・カメラ機能がなくても受講可能ですが、その場合、発言や質問はできません。

7 受講料 無料

※ ただし、会場までの交通費や、オンライン方式に切り替えた場合のインターネット等の通信料など、受講にかかる費用は受講者の負担になります。

8 受講申込方法

(1) 受講申込書を、一般財団法人大阪府人権協会のホームページ（新着情報→【大阪府委託】令和4（2022）年度 大阪府人権総合講座（前期）を開催します）からダウンロードしてください（下記URLまたは右記QRコードよりアクセス可）。

URL：https://www.jinken-osaka.jp/2022/05/32021_1_2.html

(2) 受講申込書に必要事項を記入の上、Eメールにてお申し込みください。

Eメールアドレス：info@jinken-osaka.jp

9 申込期限 令和4（2022）年6月17日（金）午後5時 必着



10 受講者の決定

受講希望者が定員を超えた場合、

- ① 人材養成コースは、コース内の科目の一部を選択して受講される方よりもコース全科目の受講者を優先します。
また、コース全科目の受講者においても、府及び市町村において人権教育・啓発や人権相談の業務等に従事する方を優先します。
- ② 人権問題科目群は、〈人権相談員養成コース〉の受講決定者で修了認定を希望される方を優先します。
- ③ 上記①②によってもなお定員を上回る場合は、抽選にて決定します。

11 受講通知

- (1) 受講の可否については、6月21日(火)以降に当協会から申込者へEメールで通知いたします。
- (2) 受講決定後にやむを得ず受講を辞退される場合は、速やかに当協会に連絡してください。
- (3) 受講決定者には、別途「受講票」および「大阪府人権総合講座 受講要領」を配布します。

12 履修

- (1) 人材養成コース、人権問題科目群とも、出席(受講)および受講レポートの提出をもって「履修」を認定します。
オンライン方式での実施に切り替えた場合、出席(受講)は接続状況により確認します。
- (2) 受講・履修の詳細は、受講決定者に配布する「大阪府人権総合講座 受講要領」を参照してください。

13 修了認定・修了証書の交付

- (1) 前期は、〈人権ファシリテーター養成〉、〈人権啓発企画担当者養成〉、〈人権相談員養成〉の3コースで修了認定を行います。令和3~4年度または令和4~5年度の2年間での受講も可能です。(次年度は別途申込要)
- (2) 各コースの修了認定には、以下の科目の履修が必要です。

- ・ 人権ファシリテーター養成コース：全12科目(コース指定の科目)
- ・ 人権啓発企画担当者養成コース：全11科目(コース指定の科目)
- ・ 人権相談員養成コース：全40科目(コース指定の12科目と前期人権問題科目群全28科目)

- (3) 次の①及び②の要件を満たし、かつ「大阪府人権総合講座企画委員会」において修了認定を受けたコース受講者には、大阪府知事名の修了証書を交付します。
 - ① 各コースの修了認定に必要な全科目(上記(2)を参照)を履修すること。
 - ※ 「講義」形式で行う以下の科目については、やむを得ず欠席した場合、修了認定希望者に限り「特別レポート」の提出により履修に代えることができます。
 - ・ 人権ファシリテーター養成コース：「(総論)人権について」
 - ・ 人権啓発企画担当者養成コース：「(総論)人権について」
 - ・ 人権相談員養成コース：人権相談員養成コース(全12科目)と人権問題科目群(前期・全28科目)、計40科目のうち4科目まで
 - ※ 「演習」形式の科目については、理由に関わらず、欠席した場合は履修したことにはなりません。
 - ② 提示された課題(①の要件を満たす該当者にもみ提示します)についての「修了レポート」を期日(各コースの最終日から2週間以内)までに作成・提出すること。

14 科目履修証明書の交付

科目選択受講者や修了認定を行わないコースの受講者、修了認定を行うコースの未修了者や修了認定を要しない受講者のうち、科目履修証明書の交付を希望される方は、当該科目を履修後、期日(令和4年10月4日)までに指定用紙により申請してください。後日、履修の確認ができた科目について科目履修証明書を交付します。

※ 科目履修証明書は、一般財団法人大阪府人権協会代表理事名で交付します。

15 その他

- (1) 対面・集合型、オンライン方式を問わず、講座の配布資料は受講者のみ利用できます。複製や拡散等の2次使用は厳禁です。また、講義内容の録音・録画・キャプチャー(コンピューターのディスプレイ上に表示されている画像や動画をデータとして保存すること)や、SNSなどへのアップ等の2次使用も厳禁とします。
- (2) 上記を発見した場合、事務局は廃棄・削除の要求、及び受講の取り消しができることとします。
- (3) 受講の申し込み、受講者への連絡、受講レポートの提出等は原則としてEメールを使用します。
- (4) 受講申込書に記入いただいた個人情報、本講座の運営のためにのみ使用することとし、適正に管理します。

◆人権担当者入門コース◆

新たに人権担当になった方、新たに相談員になろうとする方を対象に、人権問題の基礎理解、人権行政の基礎等の基本的知識を学んでいただくコースです。

新任の方だけではなく、人権問題解決のため、何をどのように取り組めばよいのか戸惑っている方にもお勧めです。

■実施日時：

- ① 6月27日(月)
9:30~11:00 (総論) 人権について
- ② 7月6日(水)
13:00~15:00 人権問題の基礎理解①②
15:15~16:45 人権行政の基礎
- ③ 8月17日(水) A日程 / 8月29日(月) B日程
9:30~12:30 フィールドワーク①②③

■対象：新たに人権担当になった方
新たに相談員になろうとする方

■定員：40名

※ ただし、フィールドワークはA日程・B日程とも定員20名。

■内容：全7科目(講師・科目名等はP.6をご確認ください)

- ・ 人権について(国際的な観点から人権保障を考える)
- ・ 人権問題の基礎理解、人権行政の基礎
- ・ フィールドワーク(大阪市浪速地区)

※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能ですが、その場合、科目全体(①②または①②③)を通して受講してください。

※ 「フィールドワーク」はA日程、B日程のいずれかを選択の上、受講してください。なお、希望日程を優先しますが、ご希望に沿えない場合もあります。

【フィールドワークの概要】

近世以来の皮革加エや太鼓づくりの歴史をもつ大阪市浪速地区の史跡やモニュメントが整備された「人権・太鼓ロード」等を実際に歩きながら、地域の歴史、産業、暮らし、人権文化のまちづくりについて学びます。

◆人権ファシリテーター養成コース◆

ファシリテーターに必要な基礎知識を身に付けたい方を対象に、参加体験型プログラムにより、人権学習や人権研修のノウハウを学んでいただくコースです。

経験が無い方だけでなく、経験者も日頃の取組みを振り返る機会になります。講師からだけでなく、受講者相互の学びあいで、より多くの気づきが生まれます。

■実施日時：

- ① 6月27日(月)
9:30~11:00 (総論) 人権について
- ② 8月4日(木)
10:00~16:15 人権ファシリテーターとは①②
ワークショップ体験①②③
- ③ 8月19日(金)
9:30~16:45 実習に向けて①②
実習①②③
ふりかえり

■対象：ファシリテーターに必要な基礎知識を身に付けた方(経験は問いません)

■定員：20名

■内容：全12科目(講師・科目名等はP.6をご確認ください)

- ・ 人権について(国際的な観点から人権保障を考える)
 - ・ 人権ファシリテーターとしての視点・行動・スキル等の基礎的な学習
 - ・ 参加・体験型のプログラム体験
 - ・ ファシリテーター実習とふりかえり
- ※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能ですが、その場合、科目全体(①②または①②③)を通して受講してください。
- ※ 8月19日の「実習①②③」の受講には、「実習に向けて①②」の受講が必須となります。

「人権の視点」を大切にしたファシリテーターを基礎から目指します。スモールステップで、できることから始めてみましょう。

◆人権問題科目群◆

いろいろな人権問題を幅広く学びたい方が、深めたい課題や学んでみたい内容に応じて、自由に選択することが可能な科目群です。

職場、地域等において多様化する今日の人権問題を学び、人権が尊重される社会をめざしましょう。

※ 〈人権相談員養成コース〉の修了認定を受ける場合は、人権問題科目群(前期・28科目全て)の履修(申込要)が必要です。

P.5 下段につづく→

◆人権啓発企画担当者養成コース◆

「魅力ある人権啓発事業を考えたい」「どうすれば、人権への理解がひろがるの？」など、人権啓発事業の計画・実施に悩んでいる方にお勧めのコースです。

人権啓発の基礎と、企画立案の考え方やアイデア出し、広報等をワークショップで共に学びます。講師からだけでなく、受講者相互の学びあいでさらに良い企画にしていけます。レベルアップした企画づくりができるチャンスです。

■実施日時：

- ① 6月27日(月)
9:30~11:00 (総論) 人権について
- ② 8月5日(金)
10:00~16:15 事業計画の基礎①②③
企画書にチャレンジ①②
- ③ 8月26日(金)
10:00~16:15 広報の基礎①②
発表①②
ふりかえり

■対象：人権教育・啓発の企画や事業実施を担当する方

■定員：20名

■内容：全11科目(講師・科目名等はP.6をご確認ください)

- ・ 人権について(国際的な観点から人権保障を考える)
- ・ 人権力を高める企画づくり
- ・ 啓発ツールにもなる広報づくり
- ・ 企画書作成と講評

※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能ですが、その場合、科目全体(①②または①②③)を通して受講してください。

受講者同士で意見を出し合いながら、ひとりでは考えられなかったイメージやアイデアなどを持ち帰ります。事業企画をレベルアップすることで、充実した人権啓発事業を実現しましょう。

◆人権相談員養成コース◆

相談業務経験が概ね1年以下の相談員を対象に、人権相談の状況や法律や制度、相談援助技術の基礎を学んでいただくコースです。

※ <人権相談員養成コース>の修了認定を受ける場合は、人権問題科目群(前期・28科目全て)の履修(申込要)が必要です。

■実施日時：

- ① 6月27日(月)
9:30~11:00 (総論) 人権について
11:15~16:45 人権相談の現状と相談の基本
個人情報保護と共有
生活保護制度
- ② 7月15日(金)
9:30~16:45 対人援助の基本姿勢①②
年金
障害者総合支援制度
- ③ 7月26日(火)
9:30~16:45 傾聴・コミュニケーション①②
雇用・労働
介護保険制度

■対象：相談業務経験が概ね1年以下の相談員

■定員：50名

■内容：全12科目(講師・科目名等はP.6をご確認ください)

- ・ 人権について(国際的な観点から人権保障を考える)
- ・ 相談援助技術の基礎
- ・ 各種法律・制度

※ コース内の科目の一部を選択して受講することも可能ですが、その場合、科目全体(①②)を通して受講してください。

人権相談、就労相談、女性相談…相談を受ける対象は違っても、相談の基本は同じです。より良い相談ができるように、相談業務の基本を学びます。

→P.4 下段よりつづき

■実施日時：8月23日(火)、8月31日(水)、9月5日(月)、9月9日(金)、9月15日(木)、
9月21日(水)、9月27日(火)

【1限】9:30~11:00、【2限】11:15~12:45、【3限】13:30~15:00、【4限】15:15~16:45

■対象：どなたでも ※ <人権相談員養成コース>の修了認定を受ける場合は人権問題科目群(前期・全28科目)の履修が必要です。

■定員：各科目60名

■内容：全28科目(講師・科目名等はP.7をご確認ください)

- ・ 女性、子ども、高齢者、障がい者、外国人の人権、同和問題、新型コロナウイルスをめぐる人権課題など、さまざまな人権問題が学べます。

令和4(2022)年度 大阪府人権総合講座(前期) 【人材養成コース】 カリキュラム

■複数のコース、コースと人権問題科目群、コース内の科目の一部を選択して受講するなど自由に選択が可能です。

No.	実施日	時間	形式	科目名	講師名 (敬称略)	所属	人材養成コース				
							担当者 入門	ファシリ テーター	啓発企画 担当者	相談員	
-		9:15~9:30	-	開講式・オリエンテーション	事務局	-	コース受講者はできるだけ参加				
1	2022年 6月27日 (月)	9:30~11:00	講義	(総論)人権について 国際的な観点から人権保障を考える	中井 伊都子	甲南大学 法学部	○	○	○	○	
2		11:15~12:45	講義	人権相談の現状と相談の基本 人権相談のてびきと相談の集約から	成田 和子	(一財)大阪府人権協会				○	
3		13:30~15:00	講義	個人情報の保護と共有 個人情報の保護及び相談事業における情報の共有	川上 確	弁護士				○	
4		15:15~16:45	講義	生活保護制度 生活保護制度の概要について	佐光 健	大阪人間科学大学 人間科学部				○	
5	2022年 7月6日 (水)	13:00~15:00	演習	人権問題の基礎理解①②	柴原 浩嗣	(一財)大阪府人権協会	○				
6			演習				○				
7		15:15~16:45	講義	人権行政の基礎 自治体行政を人権から考える	松本 城洲夫	イタリア生活文化交流協会	○				
8	2022年 7月15日 (金)	9:30~11:00	講義	対人援助の基本姿勢①②	狭間 香代子	元 関西大学 人間健康学部				○	
9		11:15~12:45	講義	対人援助における価値を学ぶ							○
10		13:30~15:00	講義	各種制度・法律「年金」 公的年金制度の概要について	松井 一恵	特定社会保険労務士				○	
11		15:15~16:45	講義	各種制度・法律「障害者総合支援制度」 制度概要と意思決定支援について	尾崎 剛志	皇學館大学 現代日本社会学部				○	
12	2022年 7月26日 (火)	9:30~11:00	講義	傾聴・コミュニケーション①②	栄 セツコ	桃山学院大学 社会学部				○	
13		11:15~12:45	講義	演習を交えて傾聴・コミュニケーション技術を学ぶ							○
14		13:30~15:00	講義	各種制度・法律「雇用・労働」 労働基準法と雇用保険制度の概要について	職員	大阪労働局労働基準部 /大阪労働局職業安定部				○	
15		15:15~16:45	講義	各種制度・法律「介護保険制度」 制度の概要について	清水 弥生	神戸女子大学 健康福祉学部				○	
16	2022年 8月4日 (木)	10:00~16:15	演習	人権ファシリテーターとは①②	北野 真由美	(特活)えんばわめんと堺 /ES		○			
17			演習					○			
18			演習					○			
19			演習					○			
20			演習	ワークショップ体験①②③				○			
21	2022年 8月5日 (金)	10:00~16:15	演習	事業企画の基礎①②③	柳瀬 真佐子	(特活)関西子ども文化協会				○	
22			演習							○	
23			演習							○	
24			演習							○	
25			演習	企画書にチャレンジ①②				○			
26	2022年 8月17日 (水)	9:30~12:30	FW	フィールドワーク※2 太鼓と皮革のまちを歩く(大阪市浪速地区)	職員	(公財)大阪人権博物館	A日程				
27			FW				A日程				
28			FW				A日程				
29	2022年 8月19日 (金)	9:30~16:45	演習	実習に向けて①②	北野 真由美	(特活)えんばわめんと堺 /ES		○			
30			演習					○			
31			演習					○			
32			演習				実習①②③		○		
33			演習						○		
34	演習	ふりかえり		○							
35	2022年 8月26日 (金)	10:00~16:15	演習	広報の基礎①②	柳瀬 真佐子	(特活)関西子ども文化協会				○	
36			演習							○	
37			演習				発表①②			○	
38			演習							○	
39			演習	ふりかえり				○			
40	2022年 8月29日 (月)	9:30~12:30	FW	フィールドワーク※2 太鼓と皮革のまちを歩く(大阪市浪速地区)	職員	(公財)大阪人権博物館	B日程				
41			FW				B日程				
42			FW				B日程				
							人材養成コース 指定科目数	7※1	12	11	12

※1 <人権担当者入門コース>は、フィールドワークをA日程・B日程のいずれかを選択して受講いただくため、指定科目数は7科目となります。

※2 フィールドワークの会場等は、受講決定者に別途お知らせします。



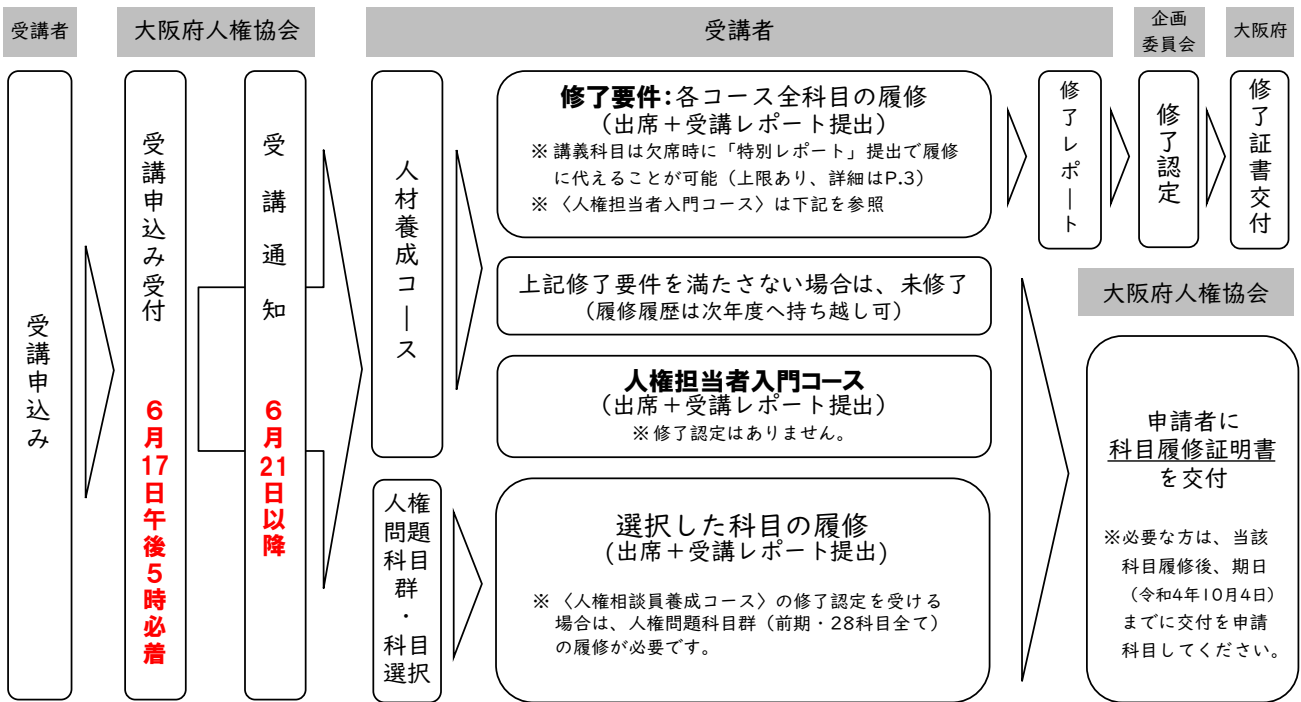
<人権相談員養成コース>の修了認定を受ける場合は、<人権相談員養成コース>と併せて、人権問題科目群(前期・28科目全て)の履修(申込要)も必要です。(P.7参照)

■ I 科目から自由に選択して受講が可能です

※ <人権相談員養成コース>の修了認定を受ける場合は、<人権相談員養成コース>と併せて人権問題科目群(前期・28科目)の全科目の履修が必要です。

No.	実施日	時間	形式	科目名	講師名 (敬称略)	所属
11	2022年 8月23日 (火)	9:30~11:00	講義	障害者差別解消法の理念と取り組み 法律の概要及び大阪府・大阪市の取り組みから	北野 誠一	(福)西宮市社会福祉協議会 共生のまちづくり研究研修所
		11:15~12:45	講義	ひきこもり問題の現状と課題 ひきこもりの方への相談・支援	漆葉 成彦	佛教大学 保健医療技術学部
		13:30~15:00	講義	インターネット等における人権課題 インターネット等での人権侵害の現状と課題	辻 大介	大阪大学大学院 人間科学研究科
		15:15~16:45	講義	犯罪被害者の人権課題 犯罪被害者の救済の取り組みについて	木村 弘子	(特活)大阪被害者支援アドボカシーセンター
12	2022年 8月31日 (水)	9:30~11:00	講義	HIV陽性者の人権課題 HIV、AIDS等の現状と課題	白阪 琢磨	(独)国立病院機構大阪医療センター
		11:15~12:45	講義	障がい者の人権課題(知的障がい) 知的障がい者を取り巻く状況等について	原田 和明	(福)大阪手をつなぐ育成会
		13:30~15:00	講義	外国人の人権課題 外国人を取り巻く状況と多文化共生に向けて	朴 洋幸	(一財)八尾市人権協会
		15:15~16:45	講義	同和問題の基礎理解 同和問題の基本的認識	田村 賢一	(一財)大阪府人権協会
13	2022年 9月5日 (月)	9:30~11:00	講義	在日韓国・朝鮮人の人権課題 在日コリアン青年のアイデンティティを中心に	李明哲	関西学院大学
		11:15~12:45	講義	新型コロナウイルス感染症の人権課題 新型コロナウイルスに関する排除や差別を考える	村山 綾	近畿大学 国際学部
		13:30~15:00	講義	メディア・リテラシー 人権の視点でメディアを読み解く	西村 寿子	(特活)FCTメディア・リテラシー研究所
		15:15~16:45	講義	女性の人権課題 日本における女性の人権課題	三輪 敦子	(一財)アジア・太平洋人権情報センター
14	2022年 9月9日 (金)	9:30~11:00	講義	LGBT/性的マイノリティと人権 取り巻く社会状況について	東 優子	大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科
		11:15~12:45	講義	障がい者の人権課題(精神障がい) 精神障がい者を取り巻く状況等について	石田 晋司	四天王寺大学 人文社会学部
		13:30~15:00	講義	SNSにおける人権課題 SNS時代に求められる子どもへの支援	石川 千明	(特活)奈良地域の学び推進機構
		15:15~16:45	講義	子どもの権利と人権課題 子どもの権利の成り立ちと今日的課題	吉永 省三	国連NGO子どもの権利条約総合研究所
15	2022年 9月15日 (木)	9:30~11:00	講義	高齢者の人権課題 高齢者と家族をめぐる権利擁護の視点	水上 然	神戸学院大学 総合リハビリテーション学部
		11:15~12:45	講義	ヘイトスピーチ解消法の理念と取り組み 解消法施行と現状、今後の課題について	文 公輝	(特活)多民族共生人権教育センター
		13:30~15:00	講義	セクシュアルハラスメント・パワーハラスメント 相談からみえるハラスメントの人権課題	宮本 由起代	(特活)心のサポート・ステーション
		15:15~16:45	講義	障がい者の人権課題(身体障がい) 身体障がい者を取り巻く状況等について	姜 博久	(特活)障害者自立生活センター・スクラム
16	2022年 9月21日 (水)	9:30~11:00	講義	部落差別解消法の理念と取り組み 現代の部落差別・部落差別解消への展望	内田 龍史	関西大学 社会学部
		11:15~12:45	講義	刑期を終えて出所した人への支援 社会復帰・地域生活への福祉的視点	山田 真紀子	大阪府地域生活定着支援センター
		13:30~15:00	講義	ハンセン病問題 ハンセン病回復者・家族の現状と課題について	加藤 めぐみ 回復者の方	ハンセン病回復者支援センター /ハンセン病関西退所者原告団いちごの会
		15:15~16:45	講義	認知症の理解 認知症の相談と支援	杉原 久仁子	大阪人間科学大学 人間科学部
17	2022年 9月27日 (火)	9:30~11:00	講義	ひとり親家族の人権課題 ひとり親家族の現状と課題	神原 文子	社会学者 専門社会調査士
		11:15~12:45	講義	依存症について 依存症の基礎理解と回復へのアプローチ	佐古 恵利子 利用者の方	(特活)いちごの会
		13:30~15:00	講義	多重債務について 多重債務問題の現状と課題について	木村 達也	弁護士
		15:15~16:45	講義	障がい者の人権課題(発達障がい) 発達障がい者の理解と支援	苅谷 沙也香 奥野 加奈子	大阪府発達障がい者支援センター アクトおおさか

■受講の流れ



受講申込書は一般財団法人大阪府人権協会のホームページからダウンロードしてください。

https://www.jinken-osaka.jp/2022/05/32021_1_2.html

《オンライン方式に切り替えた場合のZoomの使用について》

- ・ 講座の実施方法をオンライン方式に切り替えた場合、最新のコンピュータウイルス対策等がなされている機器を使用して受講してください。講座の主催者・実施者は受講によるコンピュータウイルス感染や第三者の妨害等行為など、不可抗力によって生じた損害等に一切の責任を負いませんのでご了承ください。
- ・ 受講申込前に必ず、下記URLにてZoom ミーティングの接続テストを実施してください。
※ Zoom ミーティング接続テストURL: <http://zoom.us/test>
- ・ Zoom 利用にあたっての操作方法等の問い合わせ対応やサポートはできませんのでご了承ください。

※ Zoom 及び Zoom (ロゴ) は、Zoom Video Communications, Inc.が提供するシステムです。

《大阪府人権擁護士資格取得についてのお知らせ》

大阪府人権擁護士の資格取得には、前期<人権相談員養成コース>の修了(人権相談員養成コースと人権問題科目群(前期)の全科目の履修)、及び後期開講の<人権相談員スキルアップコース>の修了と<人権相談員専門コース>の全科目履修が必要です。

詳しくは、大阪府人権局人権擁護課のHPをご覧ください。

<http://www.pref.osaka.lg.jp/jinken/yougosi/index.html>

6月27日(月)の開講式・オリエンテーションに引き続き、大阪府人権擁護士に関するガイダンスを行います。

※ 大阪府人権擁護士に関するお問い合わせ先: 大阪府人権局人権擁護課

TEL: 06-6210-9283 FAX: 06-6210-9286 Eメール: jinken-g02@sbox.pref.osaka.lg.jp

問い合わせ・受講申込み先

一般財団法人大阪府人権協会 担当: 本郷(ほんごう)
〒552-0001 大阪市港区波除4-1-37 HRCビル8階
TEL: 06-6581-8613 FAX: 06-6581-8614
Eメール: info@jinken-osaka.jp